

取組名称	ファッションの中心地・渋谷原宿からリペア文化を育む「DO REPAIRS」			団体設立後の経過年数	1年
応募取組主体名称	合同会社CYKLUS	活動地域	渋谷・原宿	応募取組の活動年数	3年
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨

渋谷・原宿エリアに店舗を構えるブランドが、自らの製品を販売する企業としての責任を果たし、「モノを長く大切に使うこと」の価値を社会に発信していくことを目的としたイベントです。基本的に物販は行わず、ブランドの垣根を越えて、純粋に「ケア」と「リペア」の重要性を伝えることに主眼を置いています。イベント期間中は、各ブランドやリペアパートナーの職人が集結し、3日間にわたりブランドを問わず衣類の修理を行います。さらに、藍染やセルフリペアなどのワークショップも実施し、参加者が自ら手を動かしながら「モノを直し、使い続ける」体験を得られる場を提供しています。

実績の要旨

パタゴニア、THE NORTHFACE、FRAITAGが3ブランドで行う渋谷原宿共同リペアイベントとして2022年9月に初めて行われました。その後、DO REPAIRSとして半年に一度継続的に実施し、前回行われた2024年5月は12ブランドが協働し、3日間合計でのリペアによって蘇った衣類やバッグは約500点、その他のコンテンツを含めたイベント参加者は約1,000名。イベント会場はブランドストアをまたがる広いエリアで行っているため、各ブランド来店者へのリーチや共感数は数千名と想定されます。

取組評価の要旨	環境への貢献	修理によって製品を長く使い続ける文化を広げることで、不必要な生産や廃棄を抑制し、環境負荷の低減につなげています。
	社会・経済への貢献	学生ボランティアの参加を通じて世代を超えた環境意識を育み、修理やケアによる「愛着を持って使い続ける体験」が人々のウェルビーイング向上にも寄与しています。
	地域資源の活用	ファッションやアートの発信地であり、世界的にも注目度の高い渋谷・原宿エリアを舞台とすることで、より大きな訴求力を発揮しています。
	普及・汎用性	地域への展開可能性も高く、既に「サッポロファクトリー THE LOOP」や「ぐるぐるふくい」などで派生的な取り組みが広がっています。
	革新・ユニーク性	競合関係にあるブランド同士が社会的・環境的価値の実現のために協働するという独自性を持ち、横のつながりを強化することで修理文化の一層の普及を促進しています。
	継続性	今後は年に一度の定期開催を予定しており、地域ごとの派生版も期待されています。次回は2025年10月24日からの3日間にわたり開催予定です。

展望の要旨

ブランドや企業の垣根を超えた取り組みとして更に共感や協働が広がり、渋谷原宿エリアにサステナブルやサーキュラーなどの新たな価値を加えていくポテンシャル。